

てつなぎ

保健だより

異常な暑さが続いた今年の夏でしたが、ようやく過ごしやすい日も出てきました。熱中症予防のため室内活動が多かった子どもたちが、元気いっぱい園庭を駆け回る姿や、嬉しそうにお散歩に行く姿を見て、秋の訪れの喜びを改めて感じています。

短い秋ならではの自然を存分に味わい、思いっきり楽しんでほしいと思います。



秋の全園児健診のお知らせ

10月18日(水) 9時30分頃～

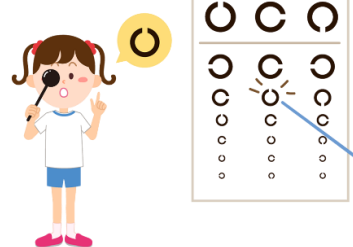
※予備日 11月15日(水)予定

園医の上野先生が全園児の健康診断を行います。年に2回の健診ですので、受けられるように調整をお願い致します。お休みでも、健診だけ受けに登園することもできます。事前に連絡帳にてお知らせください。



～5才児視力検査を行います～

10月に視力検査を行います。
日程は決まり次第きつずノートでお知らせします。
ご確認ください。
事前にお便りを配布致しますので、ご自宅でも練習してみてください。



乳児医療証、健康保険証の更新は不要となりました

今年度より乳児医療証、健康保険証のコピーのご提出は不要となりました。園での怪我等による受診の際は、保育園で医療費の立て替えを致します。お手数をお掛け致しますが、後日受診先に原本をお持ち頂き、精算をお願い致します。

子どもの目の成長と異常の早期発見

子どもは目が見えにくくても、それが普通だと思っており、自分から目の異常を伝えることができません。そのため、周りにいる大人が気付くことが大切です。**早期発見・治療のために3歳児健診の役割は大きいのです。**子どもの目の機能は、7歳頃までに完成します。小学校になる頃には、日常生活に支障がないレベルで視力は安定します。

<見えにくそうな様子>・・・早めに眼科受診をしましょう

- ・テレビを観るときいつも近付いている、ものを見るときに首を傾けている
- ・転びやすい、よく物にぶつかる
- ・ぬり絵やお絵かきをしていても、すぐに飽きてやめてしまう
- ・片方の目を隠すと嫌がる
- ・目の前の小さなものをつかみ損ねることが多い



[【こんな様子には要注意！】子どもの弱視のみつけ方・治療方法 | めがね新聞\(メガネ・眼鏡\)](#)

おたふく予防接種の費用助成について



【おたふくかぜとおたふくかぜワクチンについて】

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、年齢を問わず高頻度で合併症を起こします。乳幼児期から学童期では、無菌性髄膜炎、急性膵炎、感音性難聴などを、成人期では、精巣炎、卵巣炎等を合併します。流行性耳下腺炎は、全てのライフステージにおいて影響のある感染症です。予防接種を受けることで、感染・発症のリスクを軽減できます。

【対象者（令和5年度）】

接種日時時点で稲城市に住民登録がある次のお子様

- 1回目接種の場合：満1歳から小学校就学前年度（年長児）のお子様
- 2回目接種の場合：小学校就学前年度（年長児）かつ1回目接種から2年以上経過しているお子様

【助成期間（令和5年度）】

令和5年10月2日（月曜日）から令和6年3月30日（土曜日）

【助成金額】

お一人につき、上限額3,000円を2回まで助成



[（令和5年10月2日より費用助成を開始します。）おたふくかぜ予防接種（任意接種）の費用助成について稲城市ホームページ](#)

9月の様子 0.1歳児クラスで発熱を伴う感染症（RS、アデノ、新型コロナ、突発）が流行しました。幼児クラスでは、インフルエンザのお子さんがいましたが、感染拡大はありませんでした。職員も新型コロナが流行し、皆さまにご心配ご迷惑をおかけ致しました。引き続き、感染状況の経過を見ていきます。（小野田久美子）